

第2次玉名市環境基本計画（案）に関するパブリックコメント

パブリックコメントにおいて提出された意見及びそれに対する玉名市の考え方をお答えします。

		提出された意見	考え方
1	全体 課題設定	<p>今回の計画の検討に際しては、作成段階から市民意見を取り入れるなどの工夫がみられ、行政としての意気込みが感じられた。</p> <p>内容については、施策ごとの評価指標も設定され、極力、具体的に推進しやすいよう、後に定量評価しやすいように工夫されていると感じる。</p> <p>今後は年度ごとなどのタイミングでPDCAが行われ、目標が達成されることを期待します。私も努力していきたいと考えております。（市民により良く理解してもらうよう、出前講座等も行われるといいかもしれませんね）</p>	<p>策定段階からの市民意見の取入れは、大変重要なことです。ワークショップやパブリックコメントに十分な市民参加が得られるよう、今後さらなる工夫が必要と考えています。</p> <p>既存の事務事業に対する政策アセスメントは、本市における初めての試みとなります。10年間の運用に耐えうるよう、具体性と実現可能性に可能な限り配慮しました。</p> <p>本計画のマネジメントサイクルにおいては、市民参加が不可欠となっています。必要な情報と場を積極的に提供していくことで、より多くの市民の方にご協力いただきたいと考えています。</p> <p>近年、まちづくりの分野においても、積極的に対象者のいる場所に出向いて働きかけるアウトリーチの手法が注目されてきています。まずは、市民の方に広く周知するための瓦版を全戸配布し、出前講座についても今後検討したいと考えています。</p>
2		<p>玉名市環境基本計画案とりまとめお疲れ様でした。</p> <p>運用体系のところでの2ページ3ページについて、とても大切などころと実感いたしました。この部分が他の行政でどのようになっているのかと行政への関わり方を再認識させていただきました。</p> <p>生活環境を考え直す機会を与えてもらってほんとに良かったと思います。</p> <p>これらの考え方が日本国内はもとより、最近よく報道される他国の状況のひどさをみるにつけ、この玉名市の取り組みが世界にひろがることを願います。</p>	<p>運用体系をどこまで詳細化できるかは、計画の成否の鍵を握っています。計画期間を通して機能するよう可能な限り配慮しました。</p> <p>現状分析編は環境分野をバランスよく網羅するように配慮していますので、環境学習など本市の環境を理解するための教材として小中学校に配布することも検討します。</p> <p>本計画が他の自治体のお手本となれるよう、今後は運用にしっかり取り組んでまいります。</p>